

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「地域の中で、その人らしく、いきいき」という理念を掲げてはいるが、日常の生活の場面では業務に追われて理念に立ち返ってみることが少ない。	理念が職員の意識の中に定着し、日常生活の中で実践できる。	・ユニット会議や職員会議で、理念を意識しながら日常の生活や業務を送っているか話し合う機会を作り、職員に定着するように働きかける。	12ヶ月
2	23	言葉でうまく自分の思いを表現できない方や、入居されて日が浅い方の思いや意向をくんで支援することが難しく、職員本位になる可能性がある。	利用者全員の意向をくみ取り、なじみの関係や生活を築いていく。	・利用者本人や家族が面会にいらしたときに、習慣になっていることを聞き取り、サービス計画やグループホームでの生活に結びつける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。